

 広報とよひら

広報紙 第50号

豊平地区町内会連合会

発行者：渡辺 英雄

札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12
TEL : 011-811-9435



町連会長交代

令和7年5月、豊平地区区内会連合会会長中川昭一が退任し、副会長兼総務部長であった渡辺英雄が後任として就任しました。渡辺新会長は公職を退官後、損害保険代理店に務めながら、平成17年から豊平第4分区内会の役員に就任、平成23年8月から民生委員・児童委員にも委嘱されました。平成24年1月同町内会の第9代目会長に就任し、町理事事となり、平成27年から町連防防災防火部長となり、防災対策の強化に力を入れてきました。

まちの地位向上、子育てサロンの支援や高齢者サロンへの支援、「買い物支援事業」などの福祉事業の積極的支援なども丁寧に行っております。そして、福祉推進員の活動に対して敬意を表し、公的に評価していたくよう永年勤続表彰制度の新設を粘り強く市社協当局に訴え続け、本年度、札幌市福まち活動創立30周年記念の「福まち発！地域福祉市民活動フォーラム」において永年勤続表彰が初めて行われました。

渡辺新会長は昭和20年に樺太で生まれ、戦後湧

第4分区分町内会会長として、会則の充実化や若手への役員抜擢、事務処理の簡素化、ホームページの開設など、町内会業務に辣腕を振るっている。町内会活性化に尽力しました。

このたび、町内会連合会会長となり、町連各事業部単位で複雑化した町連事務の簡素化や引き締めの町連イベントの再編成を行い、また防災防犯活動のさらなる充実と単位町内会役員の若手抜擢の奨励、さらには町連のフェイスブック開設により広報や案内の広域化とネット対応への迅速化も取り進めています。また福祉の面でも豊平地区福まち推進センター運営委員長として培った市・

別に移住、遠軽高等学校卒業後、北海道警察に奉職し、警察署、方面本部・道警本部等を歴任、主に「生活安全」部門の経歴が長く、各地で青少年の補導・育成、家事・困りごと相談、銃器・薬物事件の捜査指揮等々・・・に従事してきました。また、管理職として、平成12年の有珠山大噴火時には、総合対策の企画・立案、女性警察官による避難者対策として「はまなす隊」等を運用した経験をもつことから、組織統率力の発揮を期待されるところであり、行政各部署などに「もの言う会長」としての一徹さと行動力は、町連・単町にとって信頼できるありがたい存在で

マンション管理会社との関係構築はどのように行つて

「まずは直接訪問し顔を合わせることを大切にしている。・実際に現地に行っていることを信頼関係を築いている。管理会社の担当者とは協力関係を構築するため「一緒に考えませんか」という姿勢で対話することを中心に掛けている。いきなり加入を強く勧めるのではなく町内会活動の意義や地域とのつながりの大切さをしっかりと説明している。マンション住民の方々にも町内会加入のメリットを伝えるため、回覧板等のお知らせや「町内会ガイド」の作成配布をしています。

会費の集金方法など、業務面での工夫は？

会費集金は、効率的に行うことが重要、管理会社と連

直での工夫はない

会費集金は、効率的に行うことが重要、管理会社と連携してマンションごとに一括して会費を集金するシステムを取り入れていることから、負担軽減につながっている。会費について共同住宅は入居者が一定ではなく、入居者数が変動するたびに町内会費を修正したり返金したりするのは業務の手間・あらかじめ町内会費を減額（約7掛け）し、「減額した町内会費×入居可能数（建物全戸数で計算）」している。

新規に6棟のマンションが町内会に入会したのですね、何がひびいたのか。

地道なアプローチ、これに尽きると思う。

尽きると思う。

尽きると思う。

尽きると思う。

働きかけ、有効なタイムイン
グは？

タイミングなんてない、いつも攻め時、座して待っていても、決して好転はしないと考えている。

新規加入者を増やすための
広報活動は？

毎月、町内会新聞を発行し、地域イベントや活動内容を紹介。特に新年度の始まる時期には加入促進キャンペーンを展開、新規転入者への声掛けを強化している。子どもたちの活動を通じて、あるいは外国人居住者向けに多様な言語での案内文も作っている。

マンシヨンの加入者が増えて良かったことは？

若し家族が増えた、子どもがイベントに来てくれ、お母さんが町内会を知ってくられる、やがて班長や役員にもなってくれる等新しい担い手の確保につながる。外国人との交流も深まり、地域の多様性が豊かになった。何より顔の見える関係が広がることで住民同士の助け合いや支え合いの意識が高まっている。



新任所長のご紹介

このたび、豊平まちづくりセンター所長に就任しました。出身は札幌市という小さな港町で、高校まで通った後、大学進学を機に札幌に移り住みました。札幌市役所には平成16年に入庁し、昨年勤続20年を迎えたところです。職歴としては、初め税務を担当した後に、観光や広報等に携わったほか、直近では、東京事務所で2年ほど首都圏に向けた札幌の魅力発信を行いました。

インドア派で家で映画鑑賞や読書をして過ごすのが好きですが、最近では健康維持のために一日8000歩を目標としてできるだけウォーキングするようにしています。豊平でも、歴史的な場所や美味しいお店などを巡って、地区のことをもっとよく知りたいと思っています。

着任から半年ほどが過ぎましたが、感銘を受けたこととしては、なにより豊平町連や各町内会の皆さんが、非常に熱心にボランティア活動に取り組んでおられることです。8月のふれあいまつりでは、2000人もスタッフが協力して一つのお祭りを作り上げていることに強い結束力を感ずりました。

A photograph of a woman with short brown hair, wearing a patterned top and a light-colored cardigan. She is smiling and gesturing towards a sign that reads "豊平まちづくりセンター・豊平区 SAPPORO". The background shows the entrance of the center with various posters and a green mat on the floor.



★叙勲 瑞宝双光章
 濱田 繁光さん

○札幌市社会福祉協議会会長顯彰
 中川 昭一さん

○豊平区老人クラブ 連合会
 功労者
 山田 悦子さん
 伊藤 貞保さん
 石橋 勇保さん
 吉川 鴻治さん

○札幌市老人クラブ 連合会
 功労者
 田中 範子さん
 後藤 静子さん

○札幌市民生委員
 児童委員 永年勤続表彰
 高橋 京子さん（15年表彰）
 小林 廣司さん（10年表彰）
 児玉 和子さん（5年表彰）
 白浜 律子さん（5年表彰）
 吉川 きん子さん（5年表彰）
 高橋 恒夫さん（5年表彰）
 田邊 昭博さん（5年表彰）
 伊藤 京子さん（5年表彰）
 藤井 郁代さん（5年表彰）
 有馬 尚経さん（5年表彰）

○札幌市福祉のまち推進事業
 永年勤続表彰
 佐藤 恵子さん
 石川 陽子さん

○豊平区社会福祉協議会
 会長表彰
 寒川 怜子さん

○豊平区クリーンささぽろ
 衛生推進協議会
 清掃ボランティア表彰
 中村 和司さん
 古村 宗久さん

○札幌市防犯協会連合会
 防犯功労者
 井上 悟さん

編集委員長 中村 和司
 編集委員
 石川 紀男・有馬 尚経
 瀧口 潔・高橋 恒夫
 大窪 祐子・菊地 久志
 多田 裕子・湯谷由美子



「すいしやまち」を取り戻す

を「取り戻す」

いて、ついに決着がつきました。現在の水車町は、大正十四年に「豊平河岸」と地名がつけられ、昭和二十五年に「水車町」と変更になりました。そのときの公告にはヨミガナは無く、地元の人たちは「すいしやまち」と呼んでいました。

しかし、札幌市は昭和五十四年の町名整理において、地元民に何ら調査や説明もなく「すいしやまち」とヨミガナをつけてしまいましたので、住民だけでなく市民はそれを知らなかつたから、旧来から呼ばれていた「すいしやまち」と引き続き呼称していました。



平成二十年以降くらいから
公共料金の請求書や地図本
札幌市の地名本などが「すい
しゃちょう」と記載するよう
になったことから、地元民の
意識と行政との考え方の相違
が顕著になり、旭水地区の
住民が札幌市に行政処分とし
て「すいしゃまち」と更正す
るように申し出たところ、以
前よりローマ字で「すいしゃ
まち」と書かれた信号下の住
所表示板に上から「すいしゃ
ちょう」というローマ字表記
のシールを貼るなどの行為が
出たため、旭水町内会では故
柴田崇行前会長が町名変更に
関するプロジェクトチームの
立ち上げを検討しました。本
格的に活動を始めたのが令和
六年からで高橋恒夫会長を中

心として札幌市と交渉し、総会決議書と1ヶ月半で一千十名の署名をあつめて変更の要望書を手交しました。その後、札幌市は独自の調査を経て、第1回札幌市住居表示懇談会という名の有識者会議をつくり、その諮問の結果、変更は何ら支障なしということが決まり、ついに札幌市議の議決を待つことになりました。

令和七年十月六日、第三回定例会市議会において全会一致で「すいしやまち」への町名変更が可決され、その後の公示を経て二十九日には名実ともに「すいしやまち」となりました。ここに長年の懸案が解決しました。「すいしやまち」を呪い戻しました。

心として札幌市と交渉し、総会決議書と1ヶ月半で一千十名の署名をあつめて変更の要望書を手交しました。その後、札幌市は独自の調査を経て、第1回札幌市住居表示懇談会という名の有識者会議をつくり、その諮問の結果、変更は何ら支障なしということが決まり、ついに札幌市議の議決を待つことになりました。

令和七年十月六日、第三回定例会市議会において全会一致で「すいしやまち」への町名変更が可決され、その後の公示を経て二十九日には名実ともに「すいしやまち」となりました。ここに長年の懸案が解決しました。「すいしやまち」を呪い戻しました。

地域公園に電波時計設置

豊平第12分区町内会ではこれまで懸案であった地域内の「みずぼ公園」にソーラー電波時計を6月17日に設置し札幌市に寄贈しました。

豊平町連内では「豊陵公園「旭水公園」に次ぐ3基目の設置となり、公園を利用する地域の皆さんや子ども達も、時間を確認しやすくなり、安心して遊べる環境づくりに役立つとの評価を頂き、7月17日豊平区役所において、石井区長より、札幌市からの感謝状の贈呈式があり、町内会からは石川会長、井坂副会長、田畑会計部長の3氏、まちセンからは工藤所長も参加して頂きました。





さる10月12日(日)に豊平会館にて豊平・美園地区老人クラブ連絡協議会主催、とよひら福祉のまち推進センター後援による「第1回お楽しみ文化祭」が開催されました。この度から「お楽しみ演芸大会」から「文化祭」と演題を変え、加盟5クラブの会員が日頃、趣味を生かした作品の数々を展示した会場を設置したかどうか?そんなことから広義の観点から「文化祭」と変えました。



令和6年度より第八豊平祭典区山車保存会の山車部長に就いております。6月の北海道神宮祭や7月の豊平神社例大祭に巡行した山車や山車人形を紹介させていただきます。伝統と歴史を刻む北海道神宮祭に今年も事故なく参加出来ました。6月15日(日)は主に豊平・美園地区を巡行地域の皆様の安寧を願ったところであり、各町内会・各企業様より相応の御寄付もいただきました。寄付金につきましては、今後も毎年「修繕積立金」として運用させていただきます。



北海道神宮祭・豊平神社例大祭 山車人形(旧・加藤清正 新・上毛野田道命) 変更の経緯について

第4分区分町内会副会長 對馬研二

歩きました。新しい人形の登場に沿道から市民の皆様からの声援を頂き、笑顔で声援に応えるメンバーの活動が好印象でした。7月14日(月)今年の合同巡行は大神輿と山車だけの巡行で残念ながら子ども神輿は参加できませんでしたが、36号線を美園から豊平までの巡行でした。豊平神社の道徳でアピール後、宵宮祭を行い終了しました。15日(火)は豊平神社での神事から始まり、当日の天気予報では雨の確率が高めでテンションが下がりましたが、仲間が御祭神様に届いたのか、雨にあらす地域を巡行し、無事宮入を迎える事が出来ました。さて、山車人形が加藤清正から上毛野田道命に変わった経緯を紹介します。実は、豊平の山車は大正元年制作の極めて芸術性の高いもので、特

に山車本体の樫の板の彫刻は今では復元が難しいと言われる貴重な文化財であります。また、人形は「加藤清正公」でしたが、長年に渡る経年劣化で大事な人形の首等が損壊し、修繕積立金の目途も立つたことから修繕を計画して行いました。今年の町連新年会で奉賛会中川会長と豊神會田子頭から「人形を直すのであれば豊平神社の主神様である上毛野田道命人形を制作依頼しては」との助言を頂きました。山車保存会の役員会に早速提案し、決定後、山車人形修繕先の(株)翠彩堂高野氏へ相談した結果、6月8日のお披露目に間に合う事を確認出来ました。

人形の図案は「豊平神社百四十周年記念史」掲載の「前賢故実」という古文献掲載原図に、平安時代の武具図鑑を参考に着色したカラー図から、完成した「上毛野田道命」人形に豊平神社三橋充佳宮司による魂入れ神事を斎行、試し操作したところ、豊平神社の主神様にふさわしい威厳を備えた武人に出来上がっており安堵しました。また、御祭神巡行の山車曳にも多くの皆様のご協力・ご参加を頂きました。今後は山車保存会一同、山車の伝統を更に築き上げ、将来に繋げて行きたいと決意を固めたところです。各町内の皆様や各企業の方々、地域の皆様様に厚く御礼申し上げます。ご協力をお願いする次第であります。

災害時は地域との繋がりが重視

町連防災訓練

9月28日(日)豊平地区基幹避難所総合訓練が豊平会館2階体育室で実施されました。昨年は各小学校3校の持ち回りで行っていましたが、役員の高齢化や機材運搬車両の手配などの問題が多く今年度より、防災部総会に於いて豊平会館で開催したいとの意見により議決されましたので、各学校にも報告し了承を得ていました。

お陰を持ちまして、搬出、設置、撤去片付け等もスムーズに行われました。訓練には単町、正副防災部長を始め、豊平区役所、豊平消防署、豊平警察署、豊平消防団等の協力を得て、117名の地域住民の参加がありました。



今年度の訓練内容は①ダンボールベッド組立体験 従来のダンボールベッドの組立を消防団員の補助の下、手際よく組み立てられ、その強靱性を体感し、また、ワンタッチの簡易ベッドも並列され機能性等を確かめていました。

②居住スペースの体験 体育室には一張りのテントを張り、テント内の床にはソフットシートが敷かれ、寝袋も用意されました。

③簡易トイレ組立訓練実施 年々災害時のトイレ問題が重要視され、参加者の関心度

も高く、会場には簡易トイレ3基が設置され真剣に手順等を学び、その重要性がうかがえました。

④煙道訓練

火災時における死亡原因の多くは煙で窒息したり、有毒ガスによる死亡事故が、煙道訓練では視界がきかなくなつた通路を慌てず、煙を吸わないように避難出来るよう体験する訓練です。

⑤AR消火訓練

町連では初めて取り入れたバーチャル初期消火訓練で、実際に火災現場での映像が目の前に現れ、その火災を確実に消火する訓練であり、参加された多くの方が体験する事が出来ました。

これらの防災訓練はこれからも町連で継続して行きますが、近年特に、地球温暖化の影響もあり、台風や豪雨等の大雨で洪水が発生し、河川の氾濫や、土砂災害等で大きな被害を受け尊い命が失われています。今年に入ってから胆振や宗谷地方でも北海道では初めての線状降水帯が発生し、避難指示が発令され、災害は何処で何があるかわかりません。皆さん一人一人が防災意識を高め、地域との繋がりを重視し、非常時に備えておくことが大切です。

交通安全街頭啓発活動 啓発用横断幕登場

9月19日(金)交通安全市民総ぐるみ運動街頭啓発を国道36号線経王寺付近(豊平4・3)において実施しました。交通安全の横断幕を二枚制作購入しました。長さは7m、5人で掲示しました。町連(交通部、交通指導員、交通安全母の会、町内会、老人クラブ、豊平区役所、小中学校PTA(八条、豊平、旭、東園)、豊平警察署、警友会豊平支部総勢80名、ご参加ありがとうございました。

もう一枚は、制作途上で、次回の街頭啓発でお披露目とさせていただきます。



前日の23日午前中まで続いていたパツツとしない天気は午後からは晴天となり、事前の資材搬入や舞台設置がスムーズに進みました。また、公園内の草取り・清掃などを行う内に、リースの仮設トイレ6基が到着・設置されました。

(テーブル100台、椅子500脚は22日に搬入済み) 他方、各種申請・許可や、はしご車出動などの依頼も前もって無事終わっており、明日の本番を待つばかりとなりました。8月24日(日)午前中、会場設置や売店準備などを慌ただしく終えて、12時「第27回鉄一が里」とよひらふれあいまつり」が渡辺実行委員長に続き、こりん・めーたんを引き連れたの石井豊平区長のご挨拶でいよいよスタートしました。オープニングセレモニーは、昨年同様「旭小学校金管バンド」で幕を開け、引き続きの豊平太鼓・よさこい演舞と進

み、豊平音頭(町連女性部十飛び入り男性陣)の披露で終了しました。13時からの第一部ステージは、バンド演奏やフラダンス・現代ダンス、ヒップホップ、デュオによるフォークソング、歌謡ショー、ジャズサイズ等多彩な8組の出演者でした。小休止後の15時からの第二ステージは、バンド演奏・山本紗綺ライブ・よさこい演舞での盛り上がりで、ファイナルとなりました。天候に恵まれ過ぎての真夏日に、町連直営販売となったジュース類があつたという間に無くなって買い出しに走り回った等、次回への課題点はありました。しかし、豊平商店街振興会・消防団・関係団体・協賛企業からの皆さん・単町からの皆さん・有志の皆さんなど200人超のご協力



により、熱中症になりそうなか、汗をふきふきの大変な一日でしたが、事故も無く予定の17時終了に向かいました。閉会挨拶で、奥山実行委員長より、引き続き「ふれあいまつり」継続には若い力が是非必要です。緑の下の力持ち支援隊をお願いしますとのメッセージを発して、今回のふれあいまつりが無事終了しました。

褒めて認めて公平に 子供の成長を見つめ28年

「子は親の背を見て育つ」という言葉の通り、性格も個性もそれぞれ違う子供達が一同に暮る、イベントや行事があり、12分区分町内会ではその中でも28年間続けて開催している「夏期子ども防火・防犯パトロール」は、それぞれの子供達の社会性を育む活動の一環として、子供達には「あきらめない」「出来ない」「怠けない」「負けない」「いばらない」と5項目に向けて挑戦させ、その都度、褒めながら向上心や行動力を身に付けさせ、子供の成長を見守っています。

